

会議録

| | |
|---|--|
| 会議の名称 | 西東京市立学校給食運営審議会（第8回） |
| 開催日時 | 平成22年10月14日（木曜日）午後3時から午後4時30分 |
| 開催場所 | 保谷庁舎 3階 第2会議室 |
| 出席者 | 委員：有澤会長・宍戸副会長・加藤（栄）委員・林委員・中村委員・加藤（智）委員・池谷委員・皆川委員・斉藤委員・終夜委員・横田委員・清水委員・新出委員 （欠席：石井委員・栗田委員・飯塚委員） 事務局：山本課長・矢澤係長・近藤主任 |
| 議題 | 1 中学校給食の開始時期について 2 答申内容について |
| 会議資料の名称 | 西東京市立学校給食運営審議会会議録（第7回） |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |
| 会議内容 | |
| 事務局よりあいさつ（矢澤係長） | |
| <p>議題</p> <p>○有澤会長：</p> <p>本日は、中学校給食の開始時期について、もう一度、資料等を持ち寄り、市民に納得のいく説明ができるかどうかを含めて、再検討することになっていた。今までの検討内容や各委員の発言をまとめてみたが、枚数も多くなり、1つずつ検討していく時間も無いので、資料としての配布は省略する。会長として、自分なりに市民の立場に立って考えてみたが、9月開始の明確な理由は見えてこなかった。最終的に中学校給食第1期校となる現場の栄養士の話聞くほかに無いと判断し、本審議会に参加している小学校栄養士代表委員2名、小学校長代表の宍戸副会長を交えて、意見交換の場を設けた。</p> <p>そこで分かったこととして、第1期の親校となる小学校では、すでに9月に給食室の改修工事が終了し、小学校給食の調理再開と同時に、当日の献立を中学校へ提供することを想定した検証作業を毎日実施しており、万全の対策を図るには1年間が必要とのことであった。しかしながら、類似した組み合わせ（パターン）があるため、丸々1年間の検証期間は不要と考え、第1期の小学校からは、基本的なパターン（約10パターン）について7月上旬より親子給食を開始、検証を行ない、施設・設備的な改善点が出てきた場合に、夏休み中に改善を図ってはどうか、との提案が出された。夏休みを利用した改善については、給食室の改修工事が既に終了しているため、今後の改修は軽微な工事、備品・消耗品での対応が中心となることが想定され、給食実施の無い、土日で対応できるものとする。現場の栄養士の立場としては、開始時期について具体的な提案はできず、市の決定に従い、できる限りの努力をするのみ、との意見であった。親子給食開始の条件として、安全な給食の提供、安心な食材の使用については現在と同様の水準を維持するが、細やかな調理方法や、手の込んだ給食の提供については、当面の間控えざるを得ないことを保護者に理解いただく必要がある、とのことであった。栄養士としては中学校給食も親子調理方式も、全てが初めてのことであり、安全を第一に考えるのは当然であるが、保護者への理解が得られるかが心配、とのことであった。</p> | |

次に、第1期の親校となる小学校として、各校長はどう考えているのか、小学校長代表の宍戸委員が各小学校長の意見をまとめたので、報告願う。

○宍戸副会長：

栄養士との意見交換の場にも参加したため、校長として具体的な開始時期について、示したほうが良いと考え、第1期の親校となる3校の校長で、できるだけ早期に実施する方向で検討を行った。4月開始については、今までの検討内容より、困難であると判断できたが、中学校側の準備、学校行事等の都合も考えたうえで、5月20日を目途に親子給食が開始できると考えた。この時期については、第1期校の3校だけでなく、小学校校長会においても検討し、了解を得られた時期である。6月開始の声もあったが、食中毒が心配な時期でもあり、その前に調理作業に慣れておくほうが良いと考えた。また、校長会においても、中学校給食開始にあたっては、安全を第一に考えた献立を中心に提供し、教育委員会とともに保護者の理解を求めていくよう、協力していくことを確認した。

○有澤会長：

生徒のことを考えると4月開始が望ましいが、開始できない理由として、1点目は給食調理の民間委託契約の関係で、入札により4月に委託業者の変わる可能性のある学校があること。これについては新規業者が、慣れない給食室で、新たな事業である親子給食の調理を行なうことは、危険が伴うため、安全を第一に考える必要があり、納得のいく説明であるとする。もう1点は中学校の受け入れ態勢の問題である。これについては、中学校副校長代表の加藤（栄）委員より説明願う。

○加藤（栄）委員：

中学校側は食する立場であるので、小学校の調理上の都合に合わせるつもりである。事務的な作業について、在校生は前年度中に食数の把握を行うことが可能であるが、新入生に関しては4月からの希望調査、申込み確認となる。給食開始が5月20日となると、食材の発注のため4月20日には入金の確認を完了する必要があるが、実施に向け協力する。

○有澤会長：

今までの検討の中でも、食材の発注は1ヶ月前で、2ヶ月前までには献立決定のため、食数を把握する必要があることを、栄養士代表の委員が意見している。現状での調理作業のシミュレーションや献立の参考となるので、給食希望者数の把握については教育委員会が中心となって、早期に対応願いたい。また、4月当初より、中学校側の栄養士および給食費の事務職員の配置が必要と思われるため、事務局に確認したい。

○山本課長：

現在の中学校在校生および中学校新1年生については、平成22年度中に、中学校給食開始について、お知らせを送付する。その際に給食申し込みの一次的な意向調査を併せて実施したいと考えている。給食費の入金の問題については、未納問題があり、事前に徴収する必要があることを周知し、申込み方法についても案内する。人的な配置については各校に常勤の嘱託栄養士1名と、事務職の臨時職員を月3日程度配置し、対応する。配置時期については給食開始の1～2ヶ月前となる予定である。

○有澤会長：

中学校側に、給食費関連の手続きで負担増とならないよう、栄養士、事務職員を配置するということである。中学校側ではこの条件で前倒しが可能ということによいか。

○加藤（栄）委員：

今の条件であれば実施可能である。

○有澤会長：

小学校側からは5月20日開始という提案があり、中学校側もこの日程で対応できるとの意見が出たが、栄養士代表の委員として、なにか意見はあるか。

○林委員：

栄養士が心配しているのは、衛生管理のことである。給食室改修工事は完了しているが、衛生管理上の問題が全て解決されている訳ではない。中学校給食開始後も、継続的に改善していく必要があることなので、教育委員会として認識しておいていただきたい。開始時期については第1期の親校の栄養士が7月開始を提案しているので、現場の意見を尊重していただきたい。また、給食の希望調査については、11月中の実施を希望する。できるだけ正確な数値を把握できるよう、調査方法を工夫してほしい。献立面に関しては小学校・中学校での同一メニューを掲げているが、小学校側の保護者に対しても、今までどおりの給食ではなくなることで、特色のある行事食やバイキング給食にも影響が出ることを説明していただきたい。

○有澤会長：

施設設備等について教育委員会より説明願いたい。

○山本課長：

施設改修についてであるが、第1期校の給食室改修については既に完了しており、改修にあたっては学校長、副校長、栄養士の意見を踏まえ、事前調整のうえ、工事を実施している。今後の改善項目に関しては、顕在化してきた段階で対応するが、大きな工事は長期休業中での対応となる。給食希望の調査については22年度中の実施を考えており、1つの意見として伺っておく。小学校における特色のある給食の実施については、現在、親子となる学校間で給食実施日の調整を行っており、この調整の中で、実施に向けて工夫ができるものとする。調理員に関しては、人員増となるため、中学校給食の調理が無い日に関しては、今まで以上に手の込んだ調理が可能なものとする。

○有澤会長：

栄養士の心配としては中学校給食が始まってしまうと学校任せとなり、教育委員会としての後押しがなくなるのではないかと、ということである。衛生管理については、これで万全ということは無いので、引き続き施設・設備の向上に向け努力していただきたいと考える。栄養士代表委員の中村委員からは何か意見等あるか。

○中村委員：

谷戸小学校は第2期の親校となるが、現在9名で小学校給食の調理を行なっている。現在でも給食室は手狭に感じており、改修工事もこれからなので、中学校給食開始時のイメージが湧かず、心配が多い状況である。

○有澤会長：

いままで、栄養士の方々の話を聞いてきて感じたことであるが、栄養士の考える給食の質と、保護者の考える給食の質には違いがある。安全であることは絶対条件であり、食材も安心な食材を使用することは今までどおりである。何が違うのかというと、包丁で手切りしていたものが機械切りになるとか、コロッケやハンバーグなど1つ1つ手でこ

ねて調理してきたメニューが困難になるなどである。中学校給食開始にあたっては、まず、安全を第一に考えること。調理に慣れてきた段階で、給食内容の改善に向けて努力すること。校長会、教育委員会は、保護者の理解を得られるよう、連携を図り、万全の体制を取っていくことを要求する。

時間をかけて開始時期について検討してきたが、小学校側も、中学校側も、生徒のためを考え、5月20日を目途に中学校給食開始が可能であることが確認できた。給食運営審議会としては、5月20日実施に向け準備を進めてほしい、との答申としたいが、よろしいか。

(異議なし。)

○有澤会長：

では、その方向で答申することとする。答申文に関しては会長・副会長で相談し、次回、各委員にお示しすることとしたい。次回日程については、調整後、事務局より本日の会議録(案)と併せて各委員に通知させていただく。他に意見、質問等はあるか。

(異議なし。)

○有澤会長：

最後に、副会長よりまとめさせていただく。

○宍戸副会長：

長い間、答申に向けて検討いただき感謝している。現場の状況をもっと早くに把握し、審議会の検討材料として提示できれば良かったと反省しているが、審議会の検討内容を元に、現場の意見を聴くことができたので、今までの検討が役立った。今後ともご協力をお願いします。

○有澤会長：

では、本日の運営審議会を終了する。